



# 11月の園だより

令和 7年 11月 1日  
目黒区立中央町保育園園長

朝晩の肌寒さが増すにつれ、木々の葉が色づき秋の深まりを感じる頃となりました。

先月の運動会には大勢の保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。子どもたちは運動会までの取り組みや当日の経験が自信へと繋がり、さらに「やれば出来る」「もっと出来るようになりたい」という気持ちが高まっています。園庭で高い竹馬（補助付き0段の竹馬から1番高い5段の竹馬までのレベルがあります）にチャレンジしたり縄跳びが何回跳べるか記録を伸ばしたりする中、5歳児の姿に憧れて竹馬に挑戦する3、4歳児も増えてきました。先日5歳児クラスの女児が竹馬をしていると、そばで遊んでいた2歳児クラスの男児が高い竹馬を指して「これやりたい」と保育士に訴えてきました。すると女児が「その竹馬は高いから、0段の竹馬持ってきてあげるね」と補助付きの竹馬を持ってきてくれました。2歳児はドキドキワクワクした表情をしながら、竹馬を握りしめ足を乗せています。担任と5歳児が竹馬を支えてあげると、その2歳児は一瞬ですが竹馬に乗ることが出来「乗れたね、すごいね」と周りで見ていた保育士や子どもたちも皆で大喜びでした。運動会をきっかけに子どもたちが体を動かすことが楽しいと思える気持ちや、さらに目標に向けて果敢に挑戦する気持ちを大切にしながら、保育を進めていきたいと思います。

8月に保育課よりお知らせのとおり、今月より「こども誰でも通園制度」の試行が始まります。保育園に通っていない地域の6か月から2歳児までの子どもたちが、火曜日、水曜日、木曜日の9時から11時30分まで1歳児室右側の保育室や園庭で過ごします。「はじめのいっぽ」というクラス名とし、社会に踏み出す初めの一歩を中央町保育園で過ごす中で、人や物への関心が広がり豊かな経験が出来るよう支援していきます。在園児にとっても交流を通してお互いの育ちへと繋がる機会になることを願っています。ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

## 今月の予定

- 歯科検診（全園児）
- 焼きいも会  
(雨の場合は延期します)
- 交通安全教室
- 中旬 身体計測、避難訓練



## お知らせ

- 12月に発表会があります。  
(3・4・5歳児クラス)  
ホールにて入れ替え制で行います。  
詳細は後日お知らせします。



## 環境教室の様子

先月、環境教室が行われました。清掃事務所の方に身近な資源のリサイクルについて説明してもらい、紙芝居も楽しみながら見ていました。

また、隣の児童遊園にはスケルトンになっているゴミ収集車が来て、ゴミ袋を積み込んでボタンを押す経験や、ゴミ収集車の助手席にも乗せてもらい、子どもたちにとって貴重な体験となりました。



# 3・4・5歳児クラスの好きな遊び



## 3歳クラス・もみじ組

ホールでのじゃれつき遊びが好きで、大きなマットを出すと一緒に走り出しています。保育士に捕まらないように逃げるのですが、タオルを被った保育士が出てくると「オバケだ」とさらに盛り上がっています。捕まることを恐れず、保育士に抱きしめられると笑顔になる子どもたちです。また、タオルを床に置くと子ども同士で「乗りたい」「じゃあ引っ張るね」とすぐに役割を決めて遊び始めました。以前はまっすぐ引っ張るのもやっとでしたが、今では友達と同じ方向に引っ張って進めるようになりました。時には互いの思いがぶつかることもありますが「順番にしよう」と子ども同士で話をしようとする姿も増えてきました。じゃれつき遊びを通して、思いきり体を動かす楽しさを感じ、保育士や友達との関わりがさらに深まっています。

## 4歳クラス・いちょう組

今、ブームとなっているのは「すもう」と「リレー」です。クラスだけで楽しむだけでなく、ぽぷら組との対戦も楽しみとなっています。もちろん勝つ気満々です。けれども、相手が手ごわいことは承知です。簡単には勝てない相手に諦めずに向かっていき、勝利した時はクラス全員で「やったー」と歓声をあげています。

給食の時には、友達同士で話をしながら「お肉を食べたらもっと強くなるんだって」ともりもり食べたり、公園に行くと沢山走ったりしている子どもたちです。憧れのぽぷら組のようになりたい気持ちを大切にしながら心も体も成長していくように、これからも様々な経験をしたいと思います。



## 5歳クラス・ぽぷら組

はさみやのり、折り紙などを自由に使用し、毎日制作を楽しんでいます。先日、綿を出してみると「お餅作りたい」とお餅作りが始まりました。綿を折り紙で包むと「僕はお餅を作るやつ作ろうかな」と臼を作ったり、大きな段ボールでお店を用意したりして、自分がイメージする物を出し合っていました。お餅屋さんの楽しそうな雰囲気にクラスの子が次々と集まってきた。「お餅を売る時にくじ引きをするのはどうかな」と新しいアイディアが出ると「おもち○、おもち×」というくじを作り、お客様が「おもち○」を引かないと買えない面白いお店が出来上りました。その後もお餅屋は大盛況で、クラス以外のお客さんも来てくれて喜んでいる子どもたちは、お店の役割分担をし、友達とのやりとりを楽しんでいました。協力し合って作る楽しさを実感している姿にクラスのつながりが深まっていると感じています。

